

RNN速報

総社市・AMDA 合同「九州豪雨被災者」緊急支援のお願い

RNN事務局長 黒住 宗道

各位

遅まきながら、上記緊急支援のお願いを送信します。7月5日から大分県、福岡県を襲った記録的な豪雨のため、15日の時点でも北九州市、朝倉市を含めて7万人以上に緊急避難指示が出され、人的被害が26件、家屋被害216件、道路被害92件等が報告されました。この状況を鑑みて、総社市とAMDAは合同チームを編成して6日から緊急支援活動を実施しました。

今回の合同支援では、第2次チームが7日に実施した調査結果をもとに準備した物資を積み、福岡県朝倉市で活動していたAMDA・総社市・野口健合同チームへ合流し、同市での物資支援を中心に活動を実施しました。

暑さ対策として総社市から扇風機が設置されたほか、杷木中学校避難所へ段ボールベッドの支援を行いました。これは、熊本地震支援における長期的な避難所支援の経験より導入を提案し受け入れられたもので、居住家屋が被災し自宅に住むことのできない避難者は、長期的に避難生活が続く可能性が高く、特に高齢者の立ち座りの負担軽減を図ったものです。また、ベッドの間に間仕切りを置くことでのプライバシー確保の提案も行いました。平行して、避難所での健康相談等のニーズ調査を実施し、直接的な医療ニーズはないとの判断に至りました。

現地で活動したチームは、今回お世話になった方々へ活動報告を行った後に帰岡し、10日に総社市役所で活動報告会を行いました。

【AMDAからの派遣者】

- ・三宅 孝士(みやけ たかし)/理学療法士・調整員/AMDA南海トラフ 災害対応プラットフォーム 災害対策副本部長/赤磐市役所職員(赤磐市とAMDAとの連携協力協定に基づき、4月より2年間の予定でAMDA本部に出向中)
- ・松永 健太郎(まつなが けんたろう)/調整員/AMDA本部職員

この度も、下記の基準に則り、各位に募金をお願い申し上げる次第です。尚、本募金の当面の〆切を本日から1ヵ月後の2017年8月22日といたします。宜しく願いいたします。

RNN 定例会議(1998/7/24 開催)により、本ネットワークによる緊急救援活動実施について

- ① RNNのメンバーが被災した場合
- ② 「トピアの会」のネットワーク(INNED、姉妹校等)が被災した場合
- ③ AMDAが現地入りした場合

が即対応の基準として承認されています。

募金は下記のRNN郵便振替口座に送金をお願いします。集められた募金はRNNとして責任をもって活用させていただきます。これまで同様、募金の領収書は各委員(教団・教会・寺院)名で出されます。ご協力に際しては、通信欄に「九州豪雨」とご明記下さい。

以上

RNN郵便振替口座

加入者名: RNN

口座番号: 01310-9-63933